

コロナ禍で頑張る人たちへ
感謝の気持ちを込めて「ありがとうございます」



町には、千田医院・美里クリニック・南美里診療所・うめだクリニックの4つの医療機関があり、日々笑顔で患者さんを迎え入れてくれます。写真は、うめだクリニックのスタッフの皆さんです。

コロナが脅威ではなくなる日まで、
引き続き一人ひとりが感染対策を。

こころをひとつに。
私たちにできることを。

国内で初めて、新型コロナウイルスの感染が確認されてからもうすぐ2年。外出自粛や休業要請など、さまざまな感染防止対策が行われ、私たちの生活は大きく一変しました。その影響は長期化し、現在も我慢の毎日が続いています。

いまだ収束の見通しが立たない中で、皆さん一人ひとりの行動が感染の拡大を防止し、命を守るにつながっています。

私たちが、このコロナ禍で学んだことは何か。学んだことは人それぞれ違うかもしれませんが、共通していることは、「他者の存在」ではないでしょうか。当たり前のように会い遊ぶことのできた友だち、帰省できずに会えていない大切な人など、さびしい思いをした人もたくさんいると思います。

日常生活への制約が長引くことでストレスを抱え、感染による身体への負担はなるとも、心に負担がかかっている人もたくさんいると言われています。

しかし、誰も経験したことがない不安を、私たちはたくさん

乗り越えてきました。皆さんがコロナという未知なる強敵に立ち向かい、協力しながら頑張ってきたことに違いはありません。今こそ、まずは自分を労い、周りの皆さんに感謝の気持ちを持つことが大切ではないでしょうか。

「ありがとうございます」という言葉は、自分も相手も元気にすることが出来ます。この魔法の言葉が増えることで、新型コロナウイルスの収束は近づいてくるのかもしれない。

その中で、私たちの生活を守るために、コロナ禍の最前線でたたく皆さんがいます。それは、医療や福祉、消防や警察、生活に必要なサービスを提供してくださる皆さんです。感染リスクと向き合いながら最善を尽くしてくれています。

今一度、私たちにできることは何か考えましょう。感染症を正しく理解し、ストレスを抱えることなく、日常に感謝しながら過ごすことが重要です。

今年も残すところあと一か月。来年がより良い年になることを願って、年末年始も気を緩めず、うつらない、うつきない行動にご協力をお願いします。



5月から始まった集団接種。日々の業務でご多用の中、医師をはじめ、薬剤師、看護師の皆さんのご協力により、町民の8割を超えるかたが、無事に2回目の接種を終えることができました。私たちのために、ありがとうございます。



ワクチンの効果やこれからについて、
美里クリニック院長 富田 潤先生にお話を伺いました。



美里クリニック院長
富田 潤 先生

新型コロナウイルスが国内で確認されてから2年が経とうとしています。我慢の続く毎日ですが、感染拡大防止にご協力ありがとうございます。

さて、ワクチン接種により、症状が出ることを防ぎ、重症化するのを予防できることが明らかになっています。最近の研究では、感染自体を防げる可能性も示されています。ワクチン接種を終えたかたの中には、注射した部位の腫れや痛み、頭痛や倦怠感、発熱などの症状が出たかもしれません。これは、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与することを目的としているため、効果とともに副反応が発生することがあります。副反応が発生しないかたにもきちんと効果はありますので、ご安心ください。

ここ最近（11月中旬）、国内の新規感染者が減少傾向にあります。要因は、感染対策の徹底・急速なワクチン接種の推進などが挙げられますが、各要因自体の寄与度は不明確であり、他の要因の影響も考えられると分析されています。この要因が解明されれば、今後の対策の鍵となるでしょう。

また、季節性インフルエンザの流行時期でもあります。社会活動が戻りつつある中で、集団生活の場、特に高齢者施設や学校などにウイルスが持ち込まれると集団感染を引き起こす可能性があります。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を抑えるためにも、引き続き、感染対策の徹底とワクチン接種を推進していく必要があります。

収束の見通しが立たない中で不安もあるかと思いますが、ともに協力し合い、乗り越えていきましょう。

3回目の新型コロナワクチン接種券について

令和3年4月30日までに2回目のワクチン接種を行ったかたを対象に、3回目の接種券を発送しました。お手元に接種券が届いていない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ＝新型コロナワクチン接種問合せ窓口 ☎ 0570-019007
※月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時